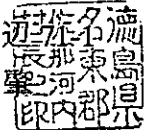


佐発第 1028 号
平成 20 年 10 月 20 日

国土交通省道路局長 殿

徳島県名東郡佐那河内村下字中道
佐那河内村長 松 尾



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

上記の件について、別紙のとおり回答します。

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

1. 村民全てが落石や崩壊等による被害を受けることなく、安全で安心な生活を送るため、遅れている本村の道路整備を進める必要があり、道路特定財源の一般化については、国の責任において、地方の道路整備に必要な財源を確保する仕組みが重要である。
2. 本村の豊かな自然環境や山林の保全等をさらに進め、我が国の国土を健全に保つための役割を担う道路が求められており、新たな道路整備や改良計画において、地方の実情を十分に把握した、真に必要な道路整備計画の策定が必要である。
3. 本村は農業を中心として今日に至っているが、我が国の食糧自給率の低さを考えるとき、さらに本村においては農業振興が重要であると考えている。少子高齢化の進展を想定すると今後も農業振興において、道路整備はさらに必要である。本村の自主性・裁量性に配慮した地方道路整備臨時交付金制度の改善・存続が必要である。
4. 公共交通機関のとぼしい本村においては、さらに道路整備が求められており、本村の様な整備率の低い地域への重点配当が必要である。

② - 1 地域の現状と抱える課題

○ 現状

本村の面積は 42.30 k m²・人口 3 0 0 0 人弱で四周を山々に囲まれた我が国の中山間地域に属する農村である。園瀬川に沿って点在する水田と傾斜畑を利用した農業が本村の産業であるが、農産物価格の低迷により、多くの村民が徳島市へ職を求めて通勤している。農業は少子・高齢化により衰退傾向が著しい。

本村には国道 4 3 8 号が通っているが、道路幅員が狭小な箇所があり、急患の病人が出たとき徳島市にある総合病院まで多くの時間が必要であり、さらには台風による洪水発生時には道路が冠水し、道路が寸断される状態である。その他県道・村道においても同じ現状である。

○ 課題

1. 緊急患者の搬送を短時間でおこなうことが求められている。
2. 洪水時における道路冠水や道路斜面崩壊など地域や集落との連絡網の整備が必要である。
3. 農家人口の減少と高齢化に対応するため、さらに道路整備を進め、農業の効率化を図る必要がある。
4. 我が国の国土保全を担い、山林管理を促進するため、また、近隣町村との連絡道路として活用される道路整備が必要である。

1. 本村においては、今後さらに少子・高齢化が進み、高齢者が本村を担っていくことが推測され、村土保全・地域や集落機能の維持向上・農業生産・福祉施策の展開など、全ての方面において高齢者が対応することを想定した事業展開が必要となっている。

道路整備においても、高齢者が安全安心して走行できることを目線にした整備が必要である。

2. 本村の大部分が山地であり、地形も急峻である。村土を健全に保つため、さらに道路整備が必要であり、経費的にも多大な予算を伴うものである。これらのことから、真に道路整備計画の策定にあたっては、自動車の通行量以外の指標を使用することを検討すべきである。
3. 本村は毎年のように台風災害を被っている。また、近年中に発生が予想されている南海・東南海沖地震において被害が発生したとき、現状の道路整備水準では大きな不安を抱いており、安全安心な村土とするために、道路整備により本村の将来像を目指している。

今後の道路行政についての意見・提案

③道路施策の重点事項（代表例，期待する効果や評価等）

○ 重点事項	○ 代表事例	○ 期待する効果や評価等	○ その他
・ 広域交流の促進	国道 438 号，府能バイパス開通により徳島バスの神山町への乗り入れ	本年 9 月まで本村と神山町との間には公共交通機関が不在であったが，府能バイパス開通により 10 月より徳島バスが神山町まで乗り入れとなり，神山町住民の通勤・通学に効果が大きい。また，本村においても，徳島バスへの赤字補填額の減少に期待している状況である。	
・ 総合交通施策の展開	主要地方道，小松島佐那河内線の徳島市大久保地区の改良	本村と徳島市との境にある大久保峠付近は幅員が狭小でカーブの多い道路であるが，近年徳島市中心の交通渋滞を避け，県西部と県南部へのアクセス道路として特に交通量が増えている。この地区を改良することで本県全域での経済効果が期待できる。	